

# 新型コロナウイルス 感染拡大防止対策& 各種支援事業

新年度予算には、引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策や支援のための予算を計上しています。そのおもな事業は次のとおりです。

商品券の発行や給付金などの助成事業は、内容が決まり次第、市ホームページ、広報あきたなどで随時お知らせします。



ワクチンの円滑な集団接種を行うため、3月15日に市保健センターで実施されたシミュレーションの様子

## まん延防止対策

新型コロナウイルス感染症の相談窓口を設置するほか、行政検査(医師や保健所の判断で行う検査)を実施し、入院治療が必要なかたの医療費を公費で負担します

▼8千659万円

## 救急医療を行っている医療機関への支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた救急医療を行っている病院へ、経費の一部を助成します

▼3千281万円

## 妊産婦への支援

強い不安を抱える妊婦のかたへ、分娩前のウイルス検査費用を補助するほか、新型コロナウイルスに感染した妊産婦のかたへの相談支援を行います

▼2千502万円

## ワクチンの接種(補正予算)

新型コロナウイルスワクチン接種対象者にクーポン券を送り、国が示す優先順位に従い、随時接種を実施していきます

▼15億9千684万円

## 生活応援商品券を発行(補正予算)

非課税世帯および子育て世帯を対象に、市内で利用できる商品券(対象者1人あたり1万円)を発行します

▼11億1千732万円

## 子ども応援給付金(補正予算)

給付対象である児童を養育する保護者に、給付金(対象児童1人あたり1万円)を支給します

▼4億6千800万円

## プレミアム付商品券を発行(補正予算)

市内で利用できる市独自のプレミアム付商品券(1万円分を8千円で販売)を発行します

▼2億7千613万円

## 飲食業者の事業継続を支援(補正予算)

令和3年1月から4月までのいずれか1か月の売り上げが、前年同月と比較して50%以上減少している飲食店などに支援金(1事業者につき10万円)を給付します

▼1億8千483万円

(関連記事を2ページに掲載)

## 離職者の資格取得に助成

新型コロナウイルス感染症の影響により離職したかたへ、資格・免許などの取得費用を補助します

▼653万円

## 離職者の採用を支援

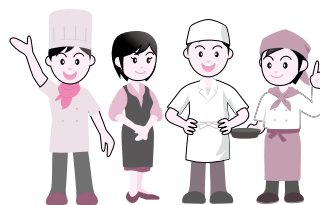
新型コロナウイルス感染症の影響により離職したかたを、来年3月1日までに採用した事業者へ支援金を交付します

▼5千215万円

## 低金利での融資(補正予算)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少し、生活資金などが必要となった勤労者を支援するため、東北労働金庫に融資原資を預託し、低金利で円滑な融資を行います

▼5千万円



## おもな事業の概要を ピックアップ!

# 5つの将来都市像に 沿った新年度事業

7・8・9<sup>ゾー</sup>では、「県都『あきた』創生プラン」に掲げる5つの将来都市像に沿って、おもな新年度事業をお知らせします。

★ 新規事業

◆ 継続事業



■ 秋田市まちなか観光案内所  
観光案内の拠点として4月にオープン。建物は、明治34年に建てられた、県内初のレンガ造りの百貨店「旧大島商会店舗」を移築・再現したものです。



■ アトリエアルヴェ

アルヴェ民間棟では、一足早く「ローカル5G」の通信環境を整備。秋田新都心ビル(株)が、アルヴェ内の映画館の一部を改修し、「アトリエアルヴェ」を3月にオープンさせました。働く場所と時間を選ばないリモートワーク用などに提供しています。

1

豊かで活気に  
満ちたまち

産業振興により地域

経済を活性化し、雇用とにぎわいを創出することにより都市としての求心力を高め、多様な交流や連携を構築し、県都として周辺圏域の発展を牽引する「豊かで活気に満ちたまち」をめざします。



★ 秋田市まちなか観光案内所がオープン

「秋田市まちなか観光案内所」が、4月1日、大町にオープン！指定管理者が管理運営を行います ▼1千33万円

★ アルヴェきらめき広場への「ローカル5G基地局」整備の一部を負担

「アフターコロナ」を見据えた、にぎわいの回復とまちの活性化を推進するため、きらめき広場にローカル5Gの基地局を整備する経費の一部を負担します ▼500万円

\*ローカル5G地域の企業や自治体が、限られた敷地内などに設置する超高速な次世代通信システム

★ 大森山動物園の飼育展示を充実

フタコブラクダなどの導入や、飼育展示環境の整備を行います ▼2千万円

◆ 誘致企業などが行う工場の新増設などの設備投資に対し助成(商工業振興奨励措置事業) ▼2億1千893万円

◆ 起業・創業を支援

起業をめざすかたや創業間もない企業に対し、事業に必要なノウハウを提供するほか、市内で新たに事業を開始しようとするかたなどに必要経費の一部を補助します ▼1千191万円

◆ 女性が働きやすい職場環境づくりを支援

女性が働きやすい職場づくりや、仕事と子育ての両立支援に取り組む企業の職場環境の整備に補助します ▼1千162万円

★ 中小企業の採用・人材育成に補助

新規学卒者やAターン希望者などの採用活動費や人材育成費などに補助します ▼660万円

◆ 新規就農を支援

農業での自立を図る新規就農者への支援のほか、新たに、移住就農者への経営開始時に要する経費を補助します ▼5千77万円

◆ 東京圏からの移住を促進

東京圏からの移住を促す補助金の対象に、テレワーカー(社外でインターネットなどを活用して働く人)を追加します ▼932万円

◆ 子育て世代の移住を促進

移動手段や生活必需品の購入費用を補助対象に追加します ▼2千592万円

➡ 次のページへ続きます